

障がい福祉施設専門分野サービス評価調書

平成29年12月7日

施設名 陽光園

委員名 谷口委員、丸山委員、原委員

区分	項目	評価			評価者のコメント	施設の対応等
		A	B	C		
IV-2 日常生活支援	(1) 食事	A			<ul style="list-style-type: none"> 栄養ケア計画は退院後すぐに作成され、本人・家族に周知されている。また、体調不良時にはすぐに静養食に変更がされている。 おかすの量は満足だが、ご飯の量が少ないとの利用者からの意見があったが、毎月のフロア別会議で栄養士が意見を聞いて献立に活かしている。 職員がイスに座って食事介助するスタイルが定着してきている。 ●食堂の広さ等、ハード面での限界があるので、職員側の工夫が必要である。 	
	(2) 入浴	A			<ul style="list-style-type: none"> 日課（入浴時間）の変更から4年となり、利用者も慣れてきたのか、利用者への聞き取りで不満の声は聞かれない。また、自器具（シャワーチェア等）など個人に合わせて使用する工夫が見られる。 一般浴と特浴に分かれて入浴している。 ●障がいに合わせての入浴のため、本人の希望と少し違う事がある。 ●シャワーチェア、スライディングボード等の福祉用具を活用している。 ●フロアの利用者は、廊下で入浴を待つことが多い。 	
	(3) 排泄		B			<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の意向に沿った介助が行われている。 ●旧トイレは狭く、利用者が新トイレに集中するため、混雑する時が多い現状がある。 ●新トイレにおむつ交換台が1台あるが、トイレでのおむつ交換を行えるほど職員の余裕がない状態である。人員配置の見直しや時間差支援などの工夫が必要である。 ●トイレの臭いが気にならない。 ●新トイレは設備が整っているが、旧トイレは設備が古い。旧トイレの改装が必要である。
(4) 衣類	① 利用者の個性や好み、TPOに応じた衣類の選択	A			<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の衣類をワーカーが数着の中から選んで着ていただけのように配慮している。 ●パジャマへの着替えは前年度よりは進んでいるが、全員ではない。 ●月に1回でも業者による衣類の訪問販売があると良い。 	
	② 衣服の着替えや汚れへの対応	A			<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の意志を尊重しながら、精一杯対応されている。 	
(7) 健康管理	① 日常の健康管理	A			<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて食事前の口腔体操を行っている。 ●看護師が不足している状況であるが、他施設からの応援により対応している。他の施設の状況など、情報交換ができたことで看護師の勉強に繋がった。 	
	② 必要時に、迅速かつ適切な医療支援	A			<ul style="list-style-type: none"> ●ワーカーと看護師との連携がとれている。 ●ワーカーによる痰吸引を行うため、研修受講を進めている。 	
	③ 薬の取り扱いと管理	B			<ul style="list-style-type: none"> ●看護師の不足から服薬管理をワーカーが補う形である。 ●利用者が安心して生活できる環境であって欲しい。 	

A	B	C
7	6	0
第三者評価結果		